



小中一貫教育だより

平成27年10月30日

No.19

(小中一貫教育推進だよりから 通算No.53)

十日町市教育委員会学校教育課



小中で授業を変える

～小中一貫教育全国サミット in 三条に参加して～

学校教育課小中一貫教育係 係長
滝沢直子

10月22・23日開催された第10回小中一貫教育全国サミット in 三条には、十日町市から統括コーディネーターをはじめ総勢29人が参加しました。私は2回目のサミット参加となりましたが、今回はとても示唆に富んだサミットだと感じました。その中でもこれと思ったいくつかをご紹介しますと思います。

(1) 小中で授業を変える

少子化、核家族化、共働き世帯の増加、地域の教育力の低下など、昨今の子どもを取り巻く状況下では、学校単体ではもう限界なのだそうです。少なくとも中学校区を単位として「15歳の学力」に責任を持つため、小中一貫教育が必要であり、国も制度化に至ったとのことでした。

ともすると小中一貫教育＝小中交流活動のように理解されますが、本来は交流より授業（交流＜授業）に資源（エネルギー）を集中すべきだそうです。特に、「小学校教員は系統性を理解し、ここが分からないと中学校の問題を解けないことを分かって指導しているのか。」という投げかけがありました。

小学校は中学校の指導内容を想像して授業を構築する。時間とエネルギーをかければ出来るかもしれませんが、でもそれは非効率的です。ならば信頼する中学校の先生と一緒に指導案（授業）をつくりあげる。まずは教科に関する指導計画（系統表）の色塗り部分の単元から。これが新しい授業のスタイルなのだそうです。

(2) 指標をモチベーションに継承する

「明るい元気な子ども」という目標は抽象的すぎてよくないそうです。目標は達成できたか判断できるもので、〇〇できる子のような行動レベルで設定するのがよいそうです。指標を“見える化”するとそれが成果となり、教師のモチベーションとなって異動で教職員のメンバーがかわっても継承していくのだそうです。

(見える指標＝成果＝教師のモチベーション⇒継承)

(3) いざ、小中一貫教育の第2ステージへ

小中一貫教育の制度化では、9年間のカリキュラムに重要性が置かれました。十日町市では3つの指導計画（教科、心、総合）をすでに作成済みです。平成23年度から25年度にかけて汗のしみ込んだ計画です。でも、活用が図られているのでしょうか？

1年のうち、子どもが学校にいる時間は18.3%に過ぎないのだそうです。学校だけで育てることは不可能です。より多くの大人が多様な視点（多様な他者）で関わる必要があります。子どもが感謝の気持ちや自己有用感を持つ場面は、地域との関わりの場面が多いそうです。地域の力を活用しているのでしょうか？

十日町市の小中一貫教育元年（平成23年度）から5年が経過します。形から質へ。9年間で15歳の姿に育てるという意識を強くし、来年度市総合計画も新しくなることを踏まえ、第2ステージへ向かって、しっかりバトンをつなげていきましょう。

■小中一貫教育全国サミット i n 三条

前記巻頭言にありますように、10月22日（木）、23日（金）は全国規模の小中一貫教育研究大会が三条市で開催されました。（26年度は兵庫県姫路市、25年度は茨城県つくば市）

市教育委員会として、十日町市の小中一貫教育を推進する参考にと、「小中一貫教育統括コーディネーター研修」と位置づけ、各中学校の推進リーダーの参加を図りました。また、十日町市教育委員さんや小中一貫教育連絡協議会のメンバーも多く参加し、教育長及び教育次長をはじめとする学校教育課職員も大挙参加しました。

学ぶこと、参考にしたいこと、今後取り入れたいことなどいろいろ持ち帰ることができました。また、校舎・施設の素晴らしさも目の当たりに感じました。

1 公開授業・協議会 （※は校舎一体型）

区分	学校名	発表テーマ（主題・副題）
第一中学校区	第一中学校・嵐南小学校 ※	全職員が連携・協力して、児童・生徒を育てる授業づくりの実践
第二中学校区	第二中学校・一ノ木戸小学校 ※	「まなび」「こころ」「からだ」「ちいき」～9年間のつながりを意識して～
第三中学校区	第三中学校、裏館小学校、上林小学校	憧れ感、自己有用感を、地域とともに育むキャリア教育の実践
大島中学校区	大島中学校、大島小学校、須頃小学校	学び合う授業、協働する教職員、つながる地域

2 全体会

開会行事	基調講演	プレゼンテーション	シンポジウム	ポスターセッション
三条市長, 文科省, 県教育長	文科省 武藤久慶氏	三条市の一貫教育	文科省, 大学, 教員	三条市及び全国の実践

3 参加者の感想・考察（今後取り入れたいこと）

・川（小学校）が海（中学校）に流れ込む汽水域の重要さが小中一貫教育につながっているという考え方。
・小中学生が一緒に意見交流し考えを深めていく活動の大切さを実感した。

・小6で評定3（3段階）が中学校で評定2や3（5段階）になることがある。カリキュラムや指導法が大きく変わるがそのギャップを埋めなければならない。

・小中一貫教育の「背景・本質」、その克服のための具体的な動き（9年間のカリキュラム等）を十日町版として進めていく。

・小中の隣接部分だけでなく、基盤となる1～4年生の小小連携の充実
・目的に応じた「学び合う授業形態の在り方」



・小中一貫教育の「効果」について教職員が研修する機会
・キャリア教育にかかる地域との連携



・第一中・嵐南小の一体型校舎の素晴らしさに圧倒された。小中一貫教育の推進への意気込みを感じた。
・今後の考えに方向を持つ機会になった。

・十日町市の小中一貫教育も試行期間を入れて6年目になる。形から質への一層のバージョンアップを図りたい。

教育センターより

知ってますか【お宝(自作教材)】ざくざくホルダー

職責別ホルダーにお宝(自作教材)がざくざくあることを知っていますか。試しに、下のホルダーをのぞいてみてください。

【職責別】→【01_学校間共通】→【小学校学習指導資料】
→【中学校教科回覧板(学習指導資料)】

たくさんのお宝があることに気付くはずです。これは、十日町市の先生方が日々の授業で活用した学習プリント類、テスト類、指導案などの資料を掲載したものです。まさに十日町市の学校の財産です。しかもいくら使っても減らない財産です。どうぞご活用ください。

しかし問題も一つ。先生方がお宝を保存しないとお宝が増えないことです。お宝を自分だけのものとせず、みんなで共有できるように、どんどん保存してください。中学校では「教科回覧板」でお宝を保存できます。

お宝(自作教材)を共有しましょう!「教科回覧板」

スクールオフィスの機能を使って、中学校の教科別の回覧板を回すことができます。この機能を使って、日々の授業で活用した学習プリント類、テスト類、指導案などの資料を掲載し、教科担当者間の情報交換の場とすることができます。せっかく作ったお宝(自作教材)を、市内の教科担当者間で共有しませんか。

【お宝(自作教材)の回し方】

- 1 回覧板の名前をつける
 - ①スクールオフィスの「回覧板」を開く
 - ②「学校間回覧板作成」を選択
 - ③「回覧板名」ボックスに回覧板の名前を入力
- 2 「内容」ボックスにコメントを記入
- 3 お宝(自作教材)の添付
「添付ファイル」ボックスにある「参照」ボタンを押し、回覧したいお宝(自作教材)のファイルを選択
- 4 回覧板を回覧したい人を決定
 - ① 画面下にある「閲覧者」で選択ボタンを押すと「中学校〇〇(〇〇は教科名)」というグループが開く
 - ②このグループから自分の教科を選択し、「閲覧者候補表示」を押す
 - ③「閲覧者選択」ボックスに各中学校の教科担当者一覧が表示される
 - ④この中から、回覧したい人を選択し「→」で「閲覧者」ボックスに移動
(全員を選択するときは、「全選択」を押す)
 - ⑤閲覧者が決定したら、「閲覧者」ボックスの上下にある「OK」を押す

* 1～4の手順はどの順番でもOK
- 5 最後に画面上下にある「回覧する」ボタンを押す
- 6 ここで回覧されたお宝(自作教材)は、教育センターでお宝ホルダーに保存します。



トピックス

中学校の取組紹介

■小中交流活動 下条中学校区

下条中学校区では、それまでの「ジャンボ若葉班活動」をバージョンアップして、よりねらいや目的、内容を明確にした「小中交流活動」を行っています。

前回にも、「中学校2年生と小学校3、4年生」、「中学校3と小学校1・2年生」の交流活動を紹介してきましたが、今回は、「中学校1年生と小学校5・6年」の活動を紹介します。

対象	活動のねらい	活動の内容
中学校3年 小学校1、2年生	学習への関心を高める	「楽しく学習しよう」 ゲーム的活動を取り入れた学習
中学校2年生 小学校3、4年生	かかわる力の向上	「いっしょにやろうよ!」 調理、工作、実験、遊び
中学校1年生 小学校5、6年生	中1ギャップ解消	中学校生活を伝えよう 中学校生活に備えよう

中1ギャップの解消をねらいとした「中1—小5・6」の活動は、まさに校舎隣接型の特徴を生かした実質的な活動です。



◆中学校の教科書、資料の多さを実感しました



◆学習計画表の作り方を学びました。



◆時間を意識して活動するため、着替えの練習をしました。



◆部活の道具を入れるとこんなにカバンが重いです。

中学生が十分に計画を練り、準備をしてきた活動です。小学生にとって、きたる中学校生活を具体的に実感し、イメージすることができたと思います。また、素晴らしいのは、小学生が目的をもって参加していたということです。
(文責丸山)

■弁当の日 松之山中学校

スクールオフィス掲示板でも紹介されていますが、松之山中学校で「弁当の日」が行われています。「まつのやま小中一貫教育推進計画」の中で、「健やかな体づくり」部会が基本的な生活習慣の定着、望ましい食習慣の形成の食育に取り組んでいます。



弁当作りをした生徒の感想には、

栄養素や彩りを考えたり、毎日作ってくれるお母さんの素晴らしさを改めて感じたり、食育について考えた様子がよく分かりました。

まだ、中学生だけの活動ですが、食育に関わる小中一貫教育の可能性は十分あると思います。食育の大切さを伝えていく、地域の意識を高めていく、などの発展が期待されます。

(文責丸山)



■中学校区の取組紹介（10月～11月）

中学校区名	10月の取組	11月の予定
拡大中学校区  【学力向上研修】	■ 9月29日（火）～10月1日（木）あいさつ運動 第5回目になる今回は、中学1年生が各中学校区の街頭に立ち挨拶運動を実施しました。 ■ 10月15日（木）22日（木）23日（金） 各小学校での中学校説明会 十日町中、中条中とも校長、教務、生徒会本部生徒3人が小学校を訪れ、学校説明をしました。 ■ 10月29日（木）拡大校区計画訪問 学力向上対策について協議しました。	□ 11月5日（木）拡大中学校区中学部 特別支援学級ふれあい交流会 □ 11月27日（金）1日異校種体験研修 十日町中 太田教諭→十日町小
南 中学校区  【1日異校種体験研修】	■ 10月1日（木）小中一貫教育だよりNo.3の発行 ■ 10月18日（日）文化祭交流 川治小学校文化祭、西小学校文化祭で南中吹奏楽部がそれぞれ演奏しました。 ■ 10月27日（火）中学校説明会 川治小（6年）、西小（5、6年）で、保護者に対して中学校生活の概要を説明しました。	□ 11月中 一貫教育だよりNo.4の発行 □ 11月4日（水）職員小中交流 西小 □ 11月10日（火）〃 川治 □ 11月17日（火）〃 南中 授業、部活動、児童会活動などの参観、各校コーディネーター、研究主任との情報交換をします。 □ 11月11日（水）南中学校区はぐくみネットワーク会議 19:00～南中
吉田中学校区  【授業公開】	■ 11月8日（木）中学校区計画訪問（吉田小会場） ①知育、徳育、体育の3部会で活動を評価考察 ②中学校区で協議し作成した指導案で算数授業を公開し、授業力の向上を図りました。 終了後、小中合同子どもを語る会を実施。 ■ 10月15日（木）中学校入学説明会（鑑島小会場） ■ 10月29日（木）小中PTA合同講演会。「夢は牛のお医者さん」の上映会を実施しました。 約240人が、映画を観賞しました。	□ 11月13日（金）吉田パワーアップ 作戦 吉田小、鑑島小の5、6年生と吉田中1年生と一緒に食事について考え、調理実習をします。 □ 11月17日（火）中学校区授業研究会 鑑島小に3校が集まり、授業研究会を実施します。 □ 11月20日（金）いじめ見逃しゼロ集会 吉田中に小学校5、6年が集まり、いじめについて考えいじめを許さない学校を作る心を育てます。
下条中学校区  【小中交流活動】	■ 中学1年生と小5・6年生の交流活動を、10月8日（木）16日（金）20日（火）と行いました。 中学校の学習や生活について、中学生が優しく分かりやすく、小学生に教えました。 ■ 10月24日（土）文化祭 小学校の文化祭に中学3年生が、中学校の文化祭に小学校6年生が参加しました。 ■ 10月28日（水）～30日（金）部活動交流 放課後3日間、小学校5・6年生が中学校の部活動を体験し、交流しました。	□ 11月2日（月）8:40～9:25 小中交流活動終わりの集い （下条中体育館） 1年間の小中交流活動の発表とまとめを行います。 
水沢中学校区  【小中P挨拶運動】	■ 10月20日（火）小中交流学习 水沢中学校2年生の「総合的な学習の発表会」に小学校6年生が参加しました。 ■ 10月27日（火）～30日（金） 小・中・Pあいさつ交流 小学生、中学生及び保護者が一緒に街頭に立ち、朝の挨拶を呼びかけました。	□ 11月5日（木）小中いじめ見逃し ゼロスクール「絆交流」 □ 11月7日（土）～13日（金） 元気アップ週間②家庭学習強調週間 □ 11月19日（木）進学指導委員会③ 小学校6年生に関わる情報交換を行います。

川西中学校区  【2015 人権カレンダー】	■ 9月30日（水）～10月6日（火）家庭学習強調週間② 小中合同の家庭学習習慣の確立の取組を実施しました。 ■ 10月24日（土）中学校合唱コンクール 6年生を中学校に招き、中学生の合唱を鑑賞しました。全体で「ふるさと」を合唱しました。 ■ 10月30日（金）心の育成部会 人権標語「親守詩（おやもりうた）」の検討をし、来年度の人権カレンダー作りを協議しました。	□ 11月12日（木）～19日（木）家庭学習強調週間③ □ 11月13日（金）紫銀祭（しぎんさい） 生徒会主催の行事の中で、小学校6年生生徒保護者を招待し、交流活動を行います。 また、中学校3年生の総合学習発表の参観や部活動体験をします。
中里中学校区  【大竹教諭の授業】	■ 10月7日（水）1日異校種体験研修（午後） 中里中大竹教諭→田沢小学校 3年生の社会科の授業を担当しました。児童の元気な姿や溢れる笑顔に触れ、中学生との違いを実感しました。 ■ 10月8日（木）1日異校種体験研修（午前） 中里中大竹教諭→貝野小学校 5・6年の社会科の授業を担当しました。初めての複式学級の授業で、異学年交流の大切さを味わうことができました。 ■ 各小学校の文化祭に、中里中吹奏楽部が参加し、美しい演奏で観客を魅了しました。また、田沢小学校 140 周年記念ワークショップに中学生が参加し、運営を手伝いました。 ■ 10月30日（金）3小学校合同校外学習 3小学校の2年生が小小交流の校外学習として電車で長野県塩崎農園に行きました。	□ 11月1日（日）中里地区PTA親善球技大会 □ 11月4日（水）1日異校種体験研修 田沢小 坂門教諭→中里中 □ 11月13日（金）1日異校種体験研修 倉俣小 若林教諭→中里中 □ 11月13日（金）ディレクトフォー ス理科実験教室 10:40～田沢小 3小学校の4年生が合同で実施。 □ 11月17日（火）1日異校種体験研修 貝野小 樋口教諭→中里中  【中学校吹奏楽部の美しい演奏】
松代中学校区  【数学体験授業】	■ 10月5日（月）中学校1日体験入学 ■ 10月8日（木）異校種体験研修 （松代中・中町教諭→松代小）音楽授業の実施 ■ 10月17日（土）松代小文化祭 ■ 10月20日（火）中学校合唱リハーサルの公開 小学校5、6年生が参観しました。 ■ 10月24日（土）松代中学校学習成果発表会	□ 11月9日（月）～13日（金） 松代中学校区すこやかウィーク② ・中学生の声は迫力があった。男子の声がすごくカッコ良かった(6年男子) ・声が重なってとてもきれい。その声や練習の時の態度を見習いたい(6年女子)
松之山中学校区 	■ 10月10日（土）松之山湯鳥駅伝大会、および健康マラソン大会（蔵品教育長も参加しました） ■ 10月31日（土）小中合同文化祭 松之山体育館で合同実施。9:30～14:00 ←【湯鳥駅伝】 小学生も中学生も保護者も、仲間に襷（たすき）を渡す。	□ 11月4日（水）メンタルヘルス研修会 講師；上教大 山本隆一准教授 □ 11月9日（月）小中合同職員研修会 生活・総合9年間のカリキュラム □ 11月13日（金）ネットトラブル 防止学習 高学年＋中学生 □ 11月30日（月）こども里山学会